

コスモ石油株式会社 2004年度中間決算説明

2004年11月17日

専務取締役

森川 桂造

単位:億円

	当中間期	当中間期内訳		前年同期比	前年同期比内訳	
		単独	連結会社		単独	連結会社
売上高	9,910	9,002	908	685	1,160	475
営業利益	218	168	50	122	128	6
経常利益	201	137	64	120	127	7
中間純利益	41	45	4	13	49	36

P / L 単独 営業利益128億円増益の要因分析

単位:億円

	当中間期	前年同期比	増減理由
売上高	9,002	1,160	販売価格の上昇 +701億円 総販売数量の増加 +459億円
売上原価	8,416	1,050	原油価格などの上昇 +796億円 数量の増加要因 +442億円 在庫評価の影響 188億円
販管費	418	18	合理化・効率化による減少
営業利益	168	128	

		当中間期	前年同期比
売上高の増減要因	販売価格(円/KL)	30,570	3,490
	総販売数量(千KL)	20,953	862
	増減率	-	104.3%
	内需燃料油数量(千KL)	13,991	329
	増減率	-	102.4%
受入原油価格	FOB(\$/BBL)	35.22	8.70
	為替(円/\$)	109.83	8.7円(円高)
	税込価格(円/KL)	27,560	4,578
在庫評価の影響 (符号:対利益)	当中間期の影響(億円)	120	原価の押し下げ
	前中間期の影響(億円)	68	原価の押し上げ

内需燃料油内訳	前年同期比
ガソリン	104.7%
灯油	96.0%
軽油	101.6%
A重油	106.7%
4品計	103.3%
ナフサ	104.8%
ジェット	118.6%
C重油	93.2%
内需燃料油計	102.4%

P / L 単独 中間純利益49億円増益の要因分析

単位:億円

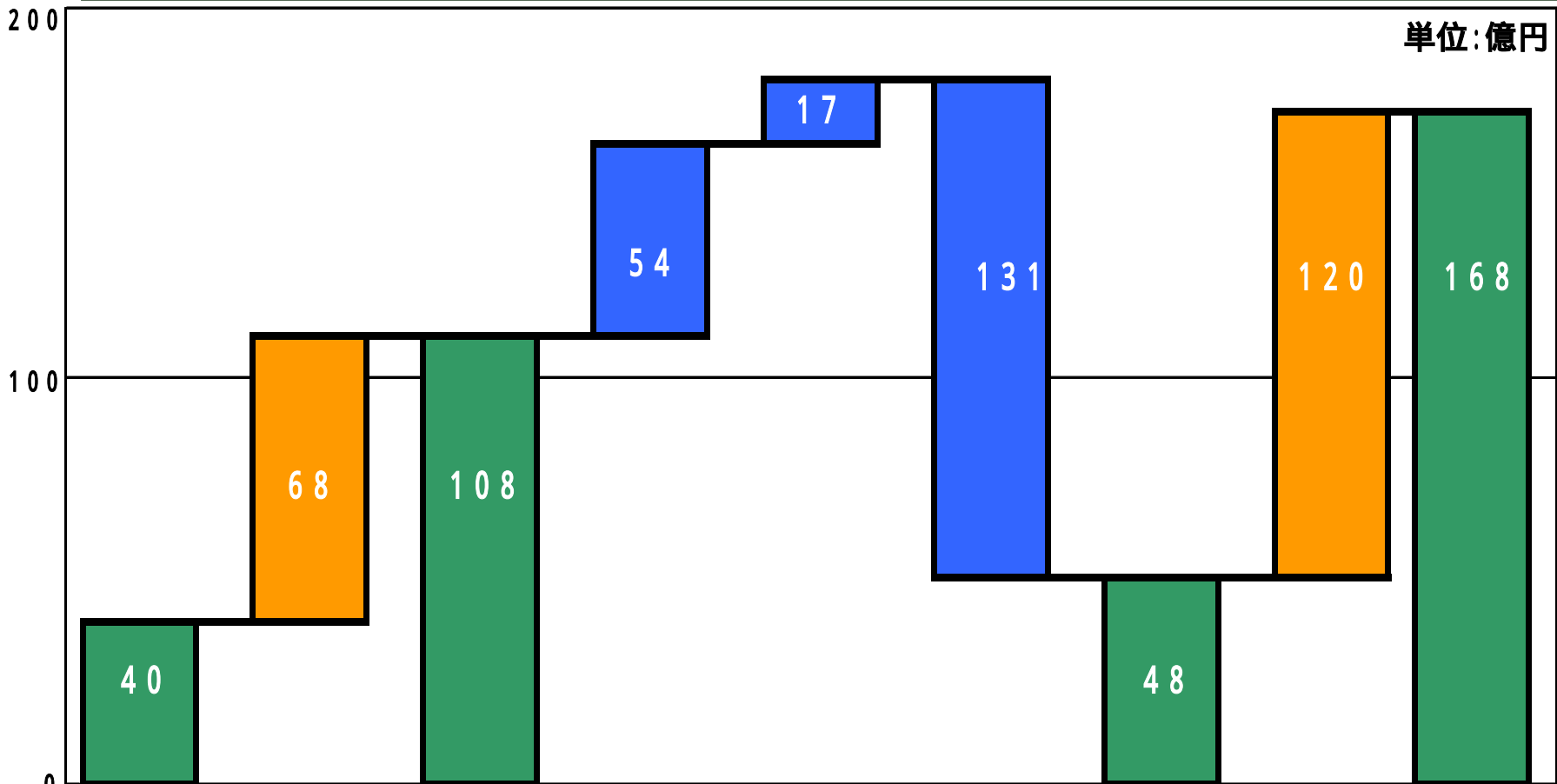
	当中間期	前年同期比	増減理由
営業利益	168	128	
営業外損益	31	1	金融収支 + 13億円、その他営業外損益 + 6億円 為替差額 20億円
経常利益	137	127	
特別損益	68	57	当中間期より「固定資産の減損会計」早期適用 76億円
中間純利益	45	49	

資産グループ別減損金額

資産グループ	単独	連結会社	合計
石油事業	-	11	11
不動産賃貸事業	5	3	8
遊休資産	71	11	82
合計	76	25	101

コスモ石油販売のみ

P / L 単独 営業利益128億円増益の要因分析



03年度 中間 営業利益	03年度 中間 在庫評価 の影響	在庫評価 の影響を 除いた 03年度 中間 営業利益	合理化・ 価値創造 の効果	内需4品 販売数量 増	市況の 影響他	在庫評価 の影響を 除いた 04年度 中間 営業利益	04年度 中間 在庫評価 の影響	04年度 中間 営業利益
--------------------	---------------------------	---	---------------------	-------------------	------------	---	---------------------------	--------------------

内需4品: ガソリン・灯油・軽油・A重油



単位:億円

	当中間期	前年同期比	増減理由
アブダビ石油	57	25	原油価格上昇(28 34\$/BBL) 為替の悪化(119 109¥/\$ 円高)他
販売子会社	9	12	販売子会社合併時の引当実施 1-6月の市況の影響(12月決算のため)
コスモ石油ルブリカンツ	6	4	合理化の実施他
コスモ松山石油	8	1	芳香族を中心とした販売価格の上昇

上記会社の売上高、経常利益、当中間純利益については、補足資料 を参照ください

B / S 連結 総資産345億円増加の要因

単位:億円

	当中間期末	前期末比
総資産	12,946	345
有利子負債額	5,399	194

資産総額345億円増加の要因

たな卸資産の増加	657億円
有利子負債の削減	194億円
減損会計の早期適用に伴う固定資産の減少	101億円
その他	17億円

計	345億円
---	-------

単位:億円

	当中間期	前期末比	増減理由
営業活動によるキャッシュ・フロー	183	-	原油価格の高騰等によるたな卸資産の増加等
投資活動によるキャッシュ・フロー	30	-	固定資産の取得・処分等
財務活動によるキャッシュ・フロー	219	-	有利子負債の削減
期末のキャッシュ残高	614	431	

04年度 通期業績予想 連結

単位:億円

	通期	前期比
売上高	21,300	2,137
営業利益	530	278
経常利益	500	305
当期純利益	180	98

主要会社別 営業利益 業績予想

	通期	前期比
コスモ石油単独	370	240
アブダビ石油	130	55
販売子会社	5	10
コスモ石油ルブリカンツ	9	2
コスモ松山石油	14	2

04年度 通期業績予想 単独

単位:億円

	通期	前期比
売上高	18,900	2,113
営業利益	370	240
経常利益	300	229
当期純利益	130	99
配当(円)	6	-

業績予想の前提

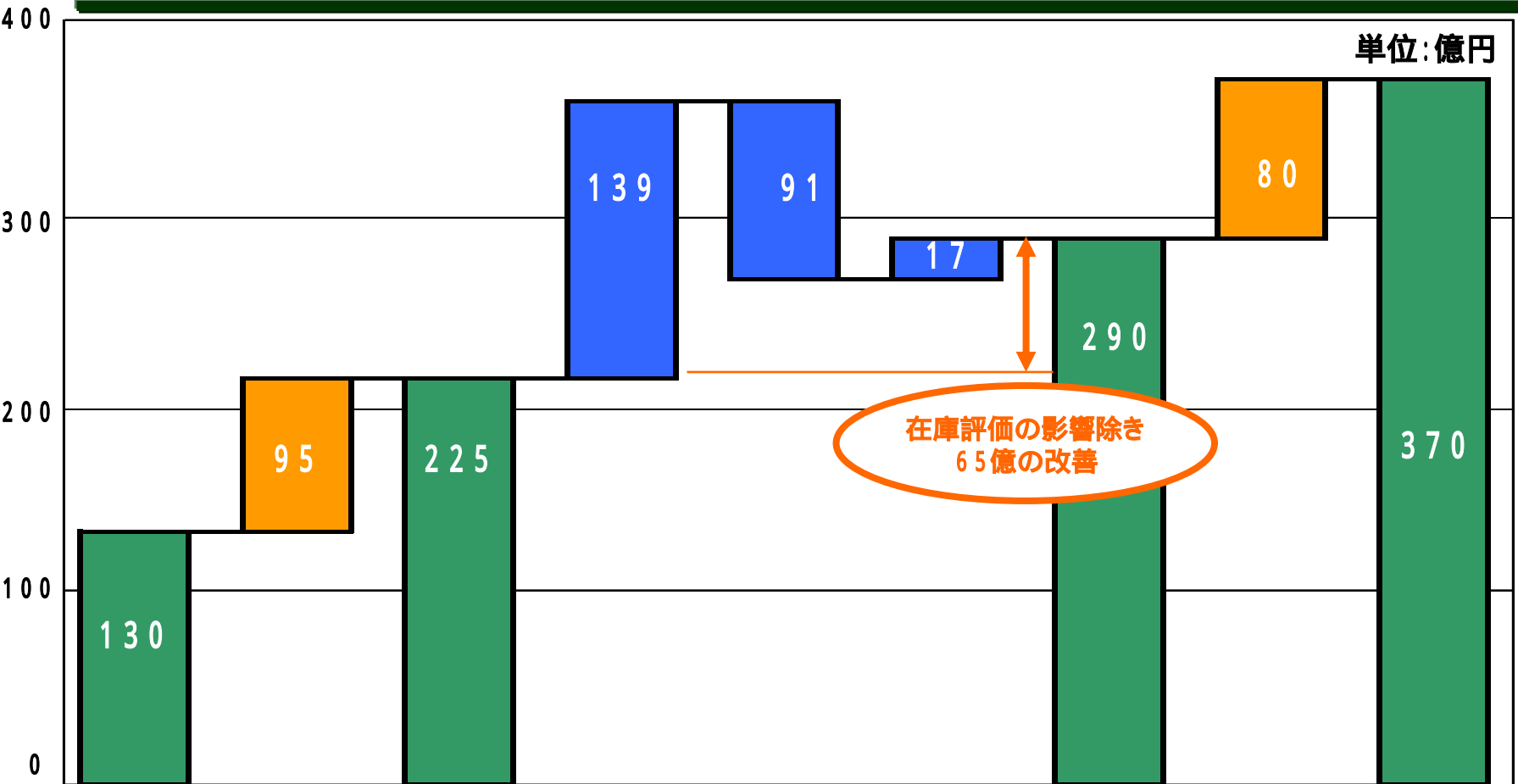
	通期
FOB(\$/BBL) <下期>	35.00
為替(円/\$) <下期>	110.00
総販売数量(千KL)	44,000
総販売数量(前期比、%)	98.7%
内需販売数量(前期比、%)	99.9%
「合理化・価値創造」効果(億円)	139

内需販売数量内訳

	通期		通期
ガソリン	102.4%	ナフサ	102.2%
灯油	101.1%	ジェット	107.4%
軽油	99.3%	C重油	86.4%
A重油	103.9%		
4品計	101.7%	内需燃料油計	99.9%

04年度 通期業績予想 単独 営業利益240億円増益の要因分析

単位:億円



在庫評価の影響除き
65億の改善

03年度 営業利益	03年度 在庫評価の影響	在庫評価の影響を除いた03年度 営業利益	合理化・価値創造の効果	市況の影響他	販売数量増	在庫評価の影響を除いた04年度 営業利益	04年度 在庫評価の影響	04年度 営業利益
-----------	--------------	----------------------	-------------	--------	-------	----------------------	--------------	-----------

04年度「合理化・価値創造」139億円の内訳

項目	部門	内容	04上実績	04下計画	04通期
合理化	供給部門	VLCC用船料の低減	2	1	3
		製油所の省エネ、保全費・作業費の削減など	8	9	17
	販売部門	経費の削減	1	8	9
	物流部門	自社・共同基地の有効活用など	3	1	4
	管理部門	人件費や一般経費の削減	10	7	17
合理化 計 (億円)			24	26	50
価値創造	供給部門	収益性改善プログラム導入による付加価値アップ	10	14	24
		FCC増強・精製プロセス改善	4	5	9
	販売部門	出資子会社を中心とした流通構造革新	12	42	54
		カード収入増	2	0.1	2
	新規事業	IPP事業他	2	2	0
価値創造 計 (億円)			30	59	89
合理化・価値創造 計 (億円)			54	85	139

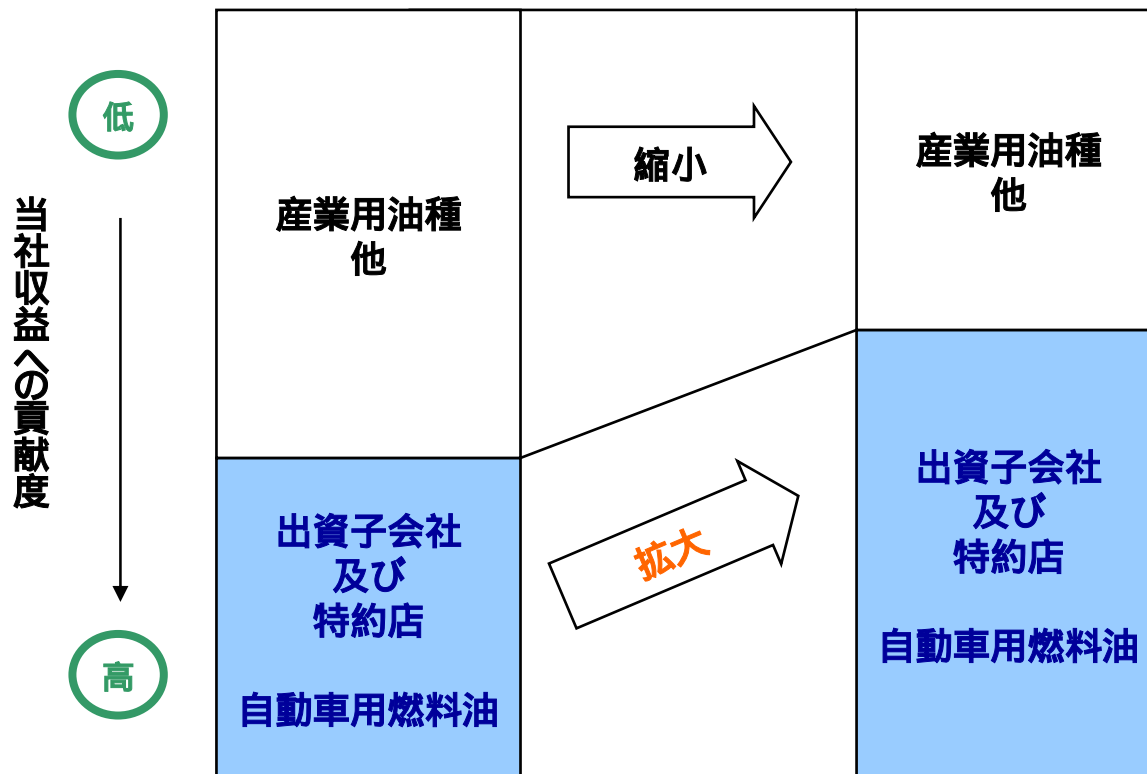
価値創造の取り組み事例 「販売部門」

出資子会社を中心とした流通構造革新

販路構成の改善 当社にとって収益貢献度の高い販路(出資子会社、特約店)の数量比率向上

油種構成の改善 収益性の高い油種(自動車用燃料油:ガソリン・軽油)の数量比率向上

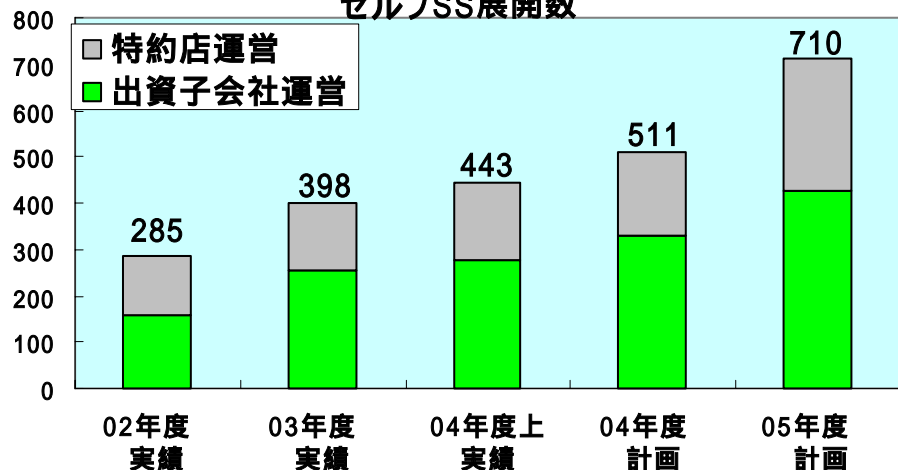
販路・油種の数量構成の変化イメージ



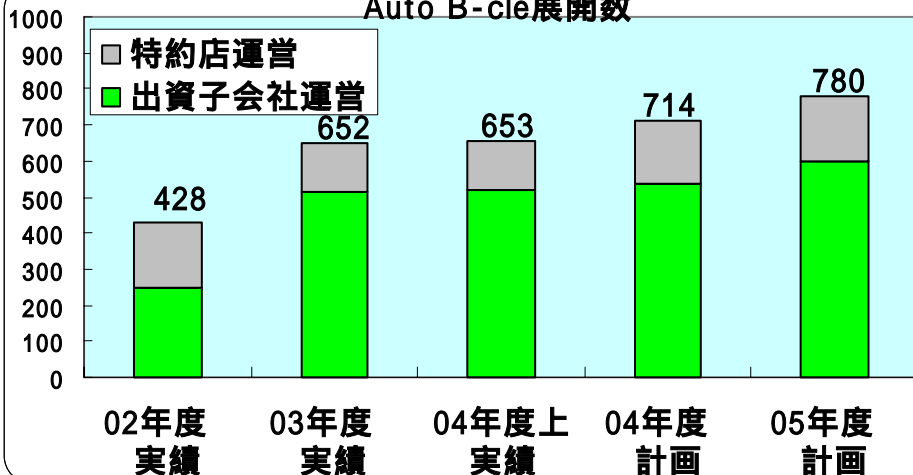
価値創造 「販売部門」進捗

セルフSS数 / Auto B-Cle数 / コスモ・ザ・カード有効会員数 進捗

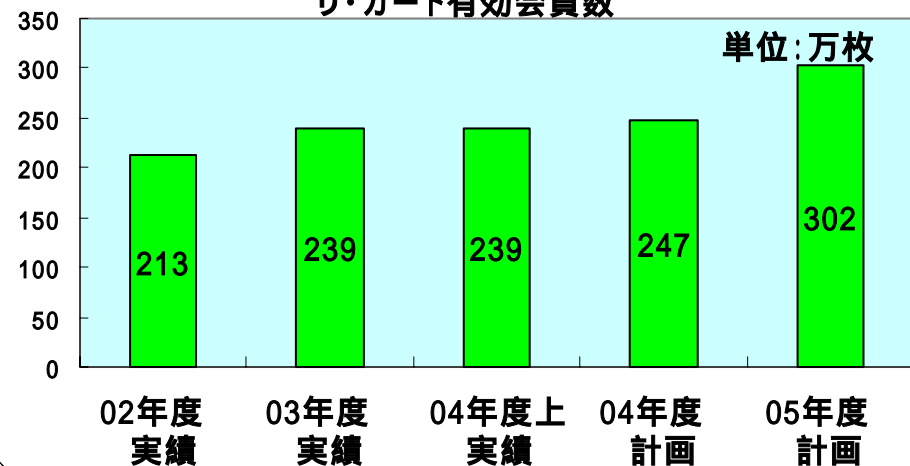
セルフSS展開数



Auto B-cle展開数



ザ・カード有効会員数



補足資料 販売および原油の状況

販売の状況			
	当中間期	前年同期比	増減率
総販売数量 千KL	20,953	862	104.3%
内需燃料油 千KL	13,991	329	102.4%
内 4品数量 千KL	8,639	277	103.3%
マグナムレシオ	17.7%	0.4%	-
原油処理、価格、為替			
	当中間期	前年同期比	増減率
受入原油代(FOB)\$/BBL	35.22	8.70	-
為替レート¥/\$	109.83	8.70	-
受入原油代(税込)¥/KL	27,560	4,578	-
原油処理量千KL	14,261	176	101.2%
トッパー稼働率 (CD)	82.4%	0.7%	-
トッパー稼働率 (SD)	92.3%	7.9%	-

SD: 定期整備等の影響を除いた稼働率

補足資料 人員数・油槽所数・SS数推移

人員数推移	実績								計画
	98/3末	99/3末	00/3末	01/3末	02/3末	03/3末	04/3末	04/9末	05/3末
石油単独	3,109	2,677	2,048	1,970	1,892	1,837	1,764	1,754	1,694
グループ	5,678	5,256	4,600	4,416	3,978	3,736	3,565	3,528	3,482
グループ:石油単独 + 出向									

油槽所数推移	実績								
	98/3末	99/3末	00/3末	01/3末	02/3末	03/3末	04/3末	04/9末	05/3末
DT数	57	52	45	41	39	39	38	38	38

SS数推移(可搬式を含む)	実績								計画
	98/3末	99/3末	00/3末	01/3末	02/3末	03/3末	04/3末	04/9末	05/3末
社有	1,172	1,105	1,065	1,010	977	959	930	918	919
自己	5,614	5,376	5,040	4,769	4,564	4,313	4,112	4,015	3,947
合計	6,786	6,481	6,105	5,779	5,541	5,272	5,042	4,933	4,866

上記のうち、セルフSS数

	98/3末	99/3末	00/3末	01/3末	02/3末	03/3末	04/3末	04/9末	05/3末
社有	0	3	6	16	77	198	279	305	356
自己	0	2	2	7	32	87	119	138	155
合計	0	5	8	23	109	285	398	443	511

単位:億円

連結	当中間期	前年同期比	増減率
売上高	9,910	685	7.4%
営業利益	218	122	126.4%
経常利益	201	120	149.0%
中間純利益	41	13	48.0%
総資産	12,946	345	-
株主資本	2,063	15	-
株主資本比率	15.9%	0.4%	-
有利子負債額	5,399	194	-
有利子負債比率	41.7%	2.7%	-
単独	当中間期	前年同期比	増減率
売上高	9,002	1,160	14.8%
営業利益	168	128	320.8%
経常利益	137	127	-
中間純利益	45	49	-
総資産	11,628	533	-
株主資本	1,726	24	-
株主資本比率	14.8%	0.5%	-
有利子負債額	4,903	40	-
有利子負債比率	42.2%	2.4%	-

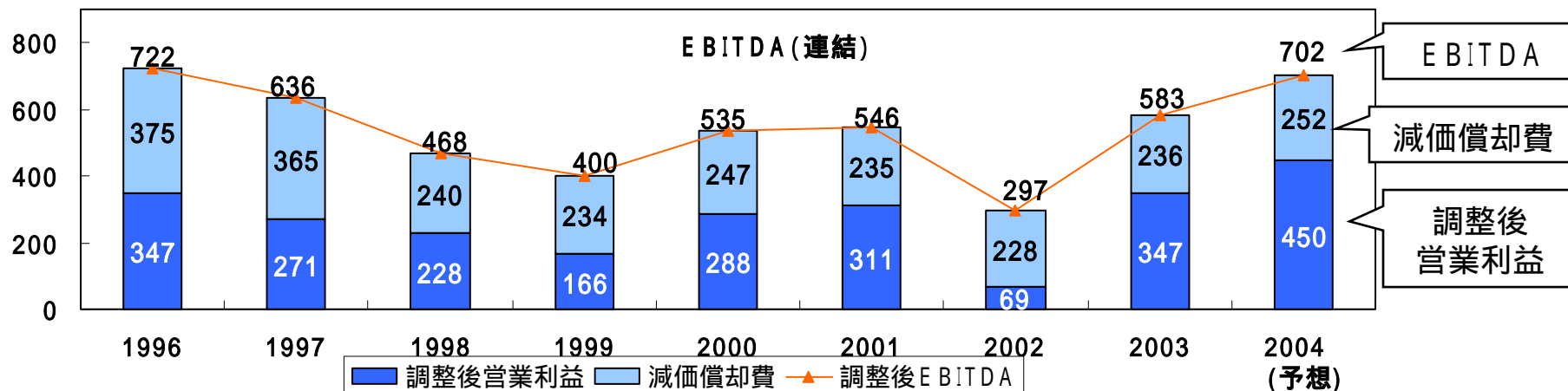
項目	部門	2004年度					
		上期			下期	年度計	
		計画	実績	達成率	見通し	見通し	達成率
		(億円)	(億円)	(%)	(億円)	(億円)	(%)
合理化	供給	12	10	89.0%	10	20	94.7%
	販売	1	1	100.0%	8	9	100.0%
	物流	3	3	102.9%	1	4	112.1%
	管理ほか	9	10	105.6%	7	17	111.4%
	小計	25	24	97.1%	26	50	102.3%
価値創造	供給	13	14	104.6%	19	33	113.3%
	販売	15	14	97.3%	42	56	94.5%
	新規事業	6	2	32.0%	-2	0	4.2%
	小計	34	30	88.6%	59	89	93.9%
総合計		59	54	92.3%	85	139	96.8%

単位:億円

	売上高	営業利益	経常利益	当中間純利益
アブダビ石油	180	57	56	9
販売子会社	1,368	9	9	27
コスモ石油ルブリカンツ	150	6	6	4
コスモ松山石油	93	8	8	5

補足資料 連結 在庫評価の影響を調整したE BITDAの推移

単位:億円



	2000	2001	2002	2003	2004 (予想)
会計上の営業利益	366	221	242	252	530
在庫評価の影響 (符号: 対利益)	78	90	173	95	80
調整後営業利益 (会計上の営業利益 - 在庫評価の影響)	288	311	69	347	450

2000年度より在庫評価方法変更

見通しに関する注意事項

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。